

# 奈良県農業研究開発センター ニュース

2019  
12  
vol.157

## イチゴ新品種 <sup>たまひめ</sup> ‘珠姫’

～ひとくちでは食べられない大きなイチゴ～

イチゴの新品種 ‘珠姫’ を育成しました。本品種は酸味が少なくさっぱりした甘みで、果実が大きいのが特徴です。

### 1. 背景と目的

本県では、県の主力品種 ‘アスカルビー’ と良食味で有利販売が可能な ‘古都華’ を育成しました。近年、ケーキ店、高級果実店、外食店等との直接取引や直売・観光農園などが盛んになりつつあり、それぞれの取引に適した果実品質を有する品種が必要となってきました。そこで、特徴ある品種の育成に取り組みました。

### 2. 研究成果の概要

‘珠姫’ は2014年に118通りの組合せで交配して得られた約3,400株の実生から選抜した促成栽培用品種です（図1、図2）。

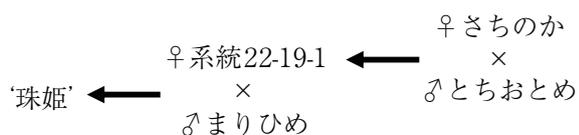


図1 ‘珠姫’ の育成系統図

極めて大きな果実と酸味が少なくさっぱりとした甘みが特徴の品種です。30g以上の果実割合が60%以上と高く、80gを超える果実もあります。収量は多収性品種の ‘アスカルビー’ と同程度以上です（表）。ランナーの発生は ‘アスカルビー’ と同等で苗数の確保が容易です。

2016～2018年度に現地栽培試験を実施し、現地適応性を確認しました。2016年度は9カ所、2017年度は12カ所、2018年度は26カ所と現地試験を拡大し、2019年1月からは ‘奈良

表 ‘珠姫’ と既存品種の収量(2018～2019年)

品種	総収量 (g/株)	平均果重 (g/果)	30g以上 果実割合(%)
珠姫	705	28.1	63.8
アスカルビー	688	17.7	22.3
古都華	678	21.7	42.2

9号’ として販売を開始しました。卸売市場や、県内外の量販店、県内飲食店で高い評価を得られ、一定の市場ニーズがあると判断できましたので、2019年9月に品種登録出願しました。

### 3. 実用化に向けた対応

本年度は、県内で37の生産者・法人が ‘珠姫’ を栽培しています。 ‘アスカルビー’ や ‘古都華’ とは異なる風味と味わいを持つ ‘珠姫’ が、多くの消費者の皆様楽しんでいただける品種になることを期待しています。



図2 新品種 ‘珠姫’

(育種科 矢奥泰章)